

岩手県職労

月2回刊=1552号
2020年3月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジョー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む



平野あきのり(51歳)
(自治労本部組織内予定候補)

北上市議会議員選挙/3月22日告示・29日投票
住みたいまち、住み続けたいまち、
きたかみの未来を一緒につくりていきたい
平野あきのりさんへの支持拡大にご協力を!

県職連合第27回・県職労第123回臨時大会

「参加する」2020春闘に

賃金・労働条件改善の要求方針確立 会計年度任用職員組織化に向け組織討議案を確認

3月1日、県職連合第27回・県職労第123回臨時大会が開催され、「全世代が実感できる賃金改善」、「諸手当改善」、「人員確保」、「超勤手当の全額支給」、「会計年度任用職員の人員・処遇改善」を柱とした20春闘方針を確立。課題改善に向けて意思統一をはかった。

開会に当たり、大崎中央執行委員長は「新型コロナウイルス関係の諸課題は早急に当局と協議し、情報発信する。民間春闘が進められているが、官製春闘も陰りが見られる。労働者・現場からの改善要求を続けていく必要がある。県職労の



▲県職連合第27回・県職労第123回臨時大会



▲2020春闘勝利に向けて「団結がんばろう」

3.6「20春闘」春闘人事課総括課長交渉 実態踏まえた人員増・職場改善求める

-新型コロナ課題の緊急要請書提出・対策求める-



▲春闘要求書を手渡す大崎県職労委員長(右)

【人員配置】

採用内定者(前倒し含む)約180人、任期付内定者19人の見通しを言及しつつ、欠員数は2月64人から十数人程度解消されるとした。しかし、行政需要に応じた配置とは程遠いことから早



▲会計年度任用職員制度などの課題について回答を求める県職労執行部

【賃金・諸手当等課題】

ことから、秋の確定闘争期までの具体的改善を求めた。改善の姿勢とは程遠いため、現場実態を踏まえた増員を求めた。また、報酬水準・病



▲一部前向き回答も継続課題は山積(写真中央が佐藤人事課総括課長)

【公舎確保】

管財課に対し、異動内示前に公舎別の異動予定見込み数を提供し、公舎不足が見込まれる地区での借上げ公舎の確保を進めるとした。

【超勤課題】

必要予算を配分すること、来年度予算は昨年当初比2億円増額した。交渉団から依然として超勤予算が不足となっている公所があると

【今後の取り組み】

一部前向き回答も、19確定闘争の継続課題は山積のまま。実感できる改善めざし、闘争を継続していく。

活動報告を行った。その後、春闘方針と会計年度任用職員の組織化に向けた県職労規約の一部改正等の組織討議案を提起し、7人の代議員から方針に対する補強発言を受けた。主な発言は次のとおり。

●一関支部では庁舎・公舎課題について総務センター所長交渉を行い、基本的な回答を得た。取り組みの強化を。

●定年延長の議論が加速しているが、60歳到達給の7割とされている。現業は中途採用も多く、60歳到達でも低い賃金水準であり、一層の改善を求める。

●各振興局土木部運転技士は新規補充がされず、一部は会計年度任用職員への置き換えも。断じて容認できず、本部交渉で直営堅持の強化を。

●各地区の衛生委員会活動の活性化に向けて本部として具体的な課題の周知と取

【人員確保・職場課題】

●各振興局土木部運転技士は新規補充がされず、一部は会計年度任用職員への置き換えも。断じて容認できず、本部交渉で直営堅持の強化を。

【賃金課題】

●定年延長の議論が加速しているが、60歳到達給の7割とされている。現業は中途採用も多く、60歳到達でも低い賃金水準であり、一層の改善を求める。

【超勤課題】

必要予算を配分すること、来年度予算は昨年当初比2億円増額した。交渉団から依然として超勤予算が不足となっている公所があると

【今後の取り組み】

一部前向き回答も、19確定闘争の継続課題は山積のまま。実感できる改善めざし、闘争を継続していく。

採用内定者(前倒し含む)約180人、任期付内定者19人の見通しを言及しつつ、欠員数は2月64人から十数人程度解消されるとした。しかし、行政需要に応じた配置とは程遠いことから早

ことから、秋の確定闘争期までの具体的改善を求めた。改善の姿勢とは程遠いため、現場実態を踏まえた増員を求めた。また、報酬水準・病

必要予算を配分すること、来年度予算は昨年当初比2億円増額した。交渉団から依然として超勤予算が不足となっている公所があると

一部前向き回答も、19確定闘争の継続課題は山積のまま。実感できる改善めざし、闘争を継続していく。

3月は親しい方や職場の仲間とのお別れと次年度を展望する時期である。しかし学校の卒業式は感染症対策で縮小等を余儀なくされており、

第五世代

3月は親しい方や職場の仲間とのお別れと次年度を展望する時期である。しかし学校の卒業式は感染症対策で縮小等を余儀なくされており、

3月は親しい方や職場の仲間とのお別れと次年度を展望する時期である。しかし学校の卒業式は感染症対策で縮小等を余儀なくされており、

自治労県本部30周年記念式典 運動振り返り新たな決意

平中元県職労委員長はじめ14人が表彰

2月29日、自治労岩手県本部は、自治労岩手県本部30周年記念式典・レセプションを開催し、県職労も参加。レセプションでは、

大崎勝弘実行委員長（県職労）が開会し、自治労県本部伊藤裕一執行委員長が30年の運動を振り返り、さらなる運動の躍進に向けた決意を示した。



△開会のあいさつをする大崎実行委員長(県職労委員長)



▲挨拶する達増知事 ▲挨拶する川本自治労本部委員長

来賓として、自治労本部川本淳中央執行委員長、連合岩手八幡博文会長、達増拓也知事が駆けつけ、30周年を祝い、さらなる躍進に向け激励の祝辞を行った。

30周年記念式典では、平中清人元自治労県本部副委員長（県職労元委員長）をはじめ自治労県本部を一定期間務めた役員、長きにわたり労働組合を支えて頂いた下平春雄書記（県職労）を含め各単組の書記の皆さんが表彰を受けた。

県職労出身表彰者

- 県本部専従役員功労者
小原 大（副委員長）
- 県本部役員功労者
大久保 博（元委員長）
平中 清人（元委員長）

- 菊池 勉（元現業評議長）
- 小澤 豊和（書記長）
- 中川 理恵（中央執行委員）
- 組織内議員功労者
鈴木 忠幸（元二戸市議）
平田ミイ子（元大船渡市議）
- 永年勤続書記功労者
（県職労書記）
藤野 和敏（元一関支部）
庭田 節子（元盛岡支部）
目時 昌子（元北上支部）
刈屋 孝和（元釜石支部）
渡辺由美子（元本部）
北川智恵子（元宮古支部）
下平 春雄（本部）

税務協が総会開催

加入促進・課題改善へ取り組みスタート

鳥屋部会長、八重樫事務局長を再選

3月7日、2019年度税務職員協議会総会が開催された。冒頭、鳥屋部会長から「東日本大震災から間もなく丸9年を迎えようとしているが、昨年の台風19号被害もあつたことから税務業務への影響もあり、復興は道半ばである。そのような職場



△税務協2019年度総会

を取り巻く環境が厳しいなか、昨今では病休者も少なくない。事前の対策が求められることから、しっかりと現場実態を踏まえた要求を進めていく」とあいさつ。総会では、職場改善要求や実感できる働き方改革をめざした取り組みなどを柱と取組を強化していく。

2020年度税務協役員体制

- 会長 鳥屋部圭（胆江）
- 副会長 伊藤 貢（盛岡）
- 副会長 小島孝二（久慈）
- 事務局長 八重樫博（県庁）
- 事務局長 小島 翼（気仙）

推薦議員 議会報告

小西和子／佐藤ケイ子

3月5日、小西和子県議・佐藤ケイ子県議（県職労推薦）が登壇し、県職労課題を取り上げた。

《小西和子県議》



【専門職種の確保策】
（小西県議）専門職の処遇

改善と専門職の育休代替職員確保は、（総務部長）処遇改善はこれまででも順次実施。事務職の育休代替職員は配置も専門職配置が課題。総合土木・獣医師は欠員解消をはかり、概ね採用予定数を充足できている職種は、今後正規職員を代替職員として配置することも見据え採用計画を検討していく。

県議会予算特別委員会 県職労課題を取り上げ、当局見解質す。

【児童福祉司の処遇改善】 （小西県議）児相の児童福祉司等の処遇改善策は、

（総務部長）国では来年度地方交付税で特殊勤務手当の増額を図る措置をした。もともと県では既に特殊勤務手当等を支給しており、月額2万円以上の該当者も国交付税措置の内容、他県状況を把握して検討。

【任期付職員課題】 （小西県議）任期付職員の今後の方向性は、

（総務部長）2021年度に向けた対応は現時点で未定だが、マンパワー確保が

【職員の賃金等の改善】 （佐藤県議）職員の勤務意欲確保策は、諸手当改善は、

（人事課長）主幹任用の取

《佐藤ケイ子県議》



必要なことから、国の復興・創成期間後の財源措置の詳細内容を注視し、育休代替職員の確保を図るための任期付職員採用等を含め、採用の方向性を研究していく。

【特別募集の方向性】 （佐藤県議）特別募集の方向性は、

（人事課長）欠員数は2月時点64人から十数人減少の方向。その推移をみて実施の有無を含めて検討。

【会計年度任用職員課題】 （佐藤県議）月額が下がるため募集しても集まらない懸念や、パートタイムへの移行に伴い正規職員の負担

増の課題も。

（人事課長）業務の見直しをしたうえで配置を決定。年収ベースでは増であり、全体で処遇改善もパートタイム職員の増で対応する。

（佐藤県議）地方財政措置があるのに賃金抑制は問題。今後も国で地方財政措置の調査もする。適正な賃金を確保し、改善すべき。

【新採用職員配属確認し取り組み推進を】 異動の仲間にも声かけて

各支部では、支部又は分会毎に2020年度新採用職員組合加入の取り組みが行われているところである。定期人事異動内示により、自分の職場に新採用職員が配置される予定か把握できることから、新採用者が自分の職場へ着任してすぐに組合加入の案内を行えるよう事前準備を。書記局へ情報提供を新採用職員名簿の入手に

新年号クイズ当選者決まる

県職労新年号クイズ応募者の抽選会を3月1日開催の県職労第123回臨時大会で実施した。厳正なる抽選の結果、当選者は次の皆さんとなりました。

- 富田 典子（県庁支部農産園芸課分会）
- 田島 大（県庁支部林業振興課分会）
- 野坂 美緒（県庁支部農産園芸課分会）
- 黒澤 克之（盛岡支部県税課分会）
- 長谷川 英夫（花巻支部花巻県税センター分会）
- 中野 俊成（北上支部農業普及技術課北上駐在分会）
- 遠藤 誠（胆江支部土木部分会）
- 林 春彦（胆江支部林務部分会）
- 菅原 裕嗣（一関支部保健福祉環境センター分会）
- 大澤 仁（宮古支部林務室分会）
- 鈴木 大輔（二戸支部二戸高等技術専門校分会）

- 支店応援賞
（県庁支部賞）
カナンフーズ
こだわり料理人のハンバーグ
高橋 守（県庁支部農業普及技術課分会）
- （盛岡支部賞）
（わしの尾白本酒2本セット）
眞鳥 芳明（盛岡支部林務部分会）



△抽選する大崎委員長、佐々木中執

【新採用職員配属確認し取り組み推進を】 異動の仲間にも声かけて

時間要することから、自分の職場に新採用職員が配置されるかどうか把握し、書記局へ情報提供いただくなどご協力願いたい。

【第2回対策会議の開催を】 配置される分会は、4月着任から継続して加入の呼びかけを行う組合員や役割を定め、どのように声掛けを行うか会議を実施し、実践に向けた意識共有をはか

ってほしい。

異動先でも声掛けを

新しい職場は、異動者も不安である。共に働く仲間として、異動された職員にもしっかりと声を掛けてあげよう。



△県庁支部の加入促進対策会議